

旧岡田倉庫移転先地についての協議会委員からの意見集約

1. A氏の私有地に移設した際のメリットやデメリット等について

| 委員名 | メリット | デメリット | その他意見 |
|------|--|---|--|
| 内田委員 | 堤防施設に近い 国土省のミズベリングの理念にかなっている | なし | - |
| 町村委員 | 旧岡田邸との連携の良さ、一体的利用が可能な点(逆に岡田邸と連携できないのであれば、魅力も半減する) | - | A氏私有地が前提とならざるを得ないと思う。 移設については、配置の仕方、駐車スペースが確保できるのか、後背地である堤防をどう活かすのかということが重要である。 岡田倉庫だけではなく、岡田邸、堤防の3つの要素をうまく連携させ、賑わいのある街づくりや歴史と文化を感じさせる街づくりの拠点を目指すような活動ができると良い。 |
| 鴻野委員 | 江別市街地の歴史的な背景や母屋との関係からも、現在地周辺の方が存在価値が高い | - | - |
| 高橋委員 | 現在の場所から近い | なし | - |
| 林委員 | 千歳川から発祥した街の歴史文化の継承 水辺の魅力普及啓発(かわまちづくり・ミズベリングが目指す目的との整合) 街から水辺にかけてのアクティビティ(人々の活動)の連続 岡田邸母屋など、水辺に残る文化的施設との連携(機能・景観) 仮に道路を活用できたとするならば、道路・水辺・文化財をある種「街の広場」として一体活用することの、都市計画・文化財保全の視点での意義 | 中庭の快適な囲まれ感の喪失 | - |
| 境委員 | 今までの場所とあまり変わらないため、歴史的にも当時を振り返る際に由緒正しいと言え、また川が近いという立地も今後の展開に期待できる。 利用者にとってもこれまでと同じ場所だと分かりやすい。 移設を機にこれまでのデータを元にし改善点を分析し、より収益を見込める施設にすることが可能。老朽化が進んでいるが旧岡田邸と隣接している前提で利活用していく案が生まれやすく今後の江別市の文化的財産への貢献が期待できる。 古い建物が希少となっているので、このエリアは“古い街並み”を残している貴重なエリアとなる。また、川の向こう側からの景観も良く、高速のインターからも近いのも利用者を増やしやすい。 | 駐車スペースの確保が必須。 ホールとして利用の場合の搬入、搬出が課題となる。 | - |
| 藤原委員 | - | - | 移設先については事務局案に賛成する。 |

2. その他自由意見(旧岡田倉庫の利活用方法を踏まえた移設先地の考え方等)

| 委員名 | 自由意見 |
|------|---|
| 小篠委員 | 現在続けている倉庫での演劇公演活動などの文化活動を継続していくためには、(搬出入)などの問題で、A氏の土地だけではなく、築堤用地、旧岡田家、家屋との関係や、その利用も含めて考える必要がある。 |
| 内田委員 | 仮に協議会やWGで他の場所に移転との決議がなされた場合、それが認められるのか。議論すべきテーマをある程度事前に会長、事務局で決めるべきであり、議論の余地のないテーマについて時間をさくのは無駄ではないか。 会議は一時間程度で終わらせてほしい。 |
| 町村委員 | WGを設けることは大賛成(まちづくりの話なので、利害関係者にはできるだけ加わってもらったほうが良い) 高齢化するかつて町を担ったベテラン住民 新しく事業を始める少数の意欲的な地域活動者 その他一般住民 これから生まれる新たな拠点を担うのは、 の後ろ盾を得た の方々だろう。 新しい施設の管理運営方式について、当初は行政が介在する指定管理者方式でスタートするのが良いのではと思う。但し、受託するのは地域住民なり事業者が関わる団体であると望ましい。生活が懸かる話でもあるため、民間企業でコンソーシアムを組み、行政とともに支えられる体制が作れると良いと思う。 かつて石狩川で行われていた大花火大会を復活できないかと考えており、一過性イベントではあるが、集客が見込め、大きな収益を見込める可能性もある。(角山で実施している既存の花火大会との連携も視野に入れる) 桜並木ができるのであれば、そのタイミングで「会社通り商店街」と称して、昔の賑わいを取り戻すお祭りのような販売イベントができればと思う。 |
| 鴻野委員 | 駐車場の確保が課題になると思われる。 |
| 高橋委員 | 移転先についてはA氏所有の土地として進めていくのが良いと思う。 |
| 林委員 | 広域な視点での当エリア・外輪船の役割を検討する必要 敷地周辺、水辺、水上、対岸など一連のアクティビティを想定し、川による地域の分断を解消するための検討が必要 誰が、どうやって、持続的に、外輪船及びエリアをマネジメントしていくのか、向こう10年の収支も含めたスキームの検討が必要 そもそも検討のベースは「地域が何を求めているか」であるため、地域の人がこの街のことを考える場(気軽に話せたり、正しい情報を入手する場)が必要 |
| 境委員 | (別紙参照) 利用者を増やすため、従来の小ホールとしての機能に控え室、厨房機能を追加し、スペースの利用料以外の売上を立てる必要がある。 旧岡田邸の和室、2階の部屋をイベントと控え室に、1階事務所(やきもの21)部分には重飲食も対応できる厨房を設置し、レストランやカフェの営業をする事も可能にしてブライダルや会食、パーティーなどのニーズにも対応可能になると利活用のメニューも増える。 常駐で管理人を置けるようになるまでは、スポットで管理をしてくれる団体や個人で運営し、継続可能な形を作る。 |
| 藤原委員 | 移設先地を考えるにあたっては、旧岡田倉庫を“どのような施設にしたいのか”、“誰が運営していくのか”ということが重要であり、今後、この点についての議論を深めていきたい。(現時点では、移設先のメリットデメリットは言えない。) |

1. 建物の重要性

市内には赤レンガ工場跡で現在活用されている施設もありますが、江別の地に流れ込む道内最大流域を持った石狩川と支流である流れの緩やかな千歳川の合流地点として、鉄道の開通を経て昭和10年までの45年間におよび明治時代から地の利を生かし江別市の発展に寄与した建造物であります。

小学校などの副読本としてこの事実は伝えられていると思いますが、建物が現存してこそ知識が養われると確信しています。

2. 歴史的建造物の移築場所

北海道開拓の村で54ヘクタールの敷地に52棟の歴史的建造物が移築または再現されていますが、資料の管内展示はあるものの一つの建造物としか判断されず、地域の歴史認識と乖離が生じているとしか思われません。

幸いにも、江別河川防災ステーション内に上川丸の実物展示があり、その一環として近隣での移築により関連付けた歴史感が育つと思われます。

建物から眺める河川から思い浮かべる先人の老若男女が活気を帯びた日々、散策や花火の閃光に写し出される建物の重厚感が過去と現代を繋ぐ架け橋になれば幸いと感じます。

3. 建物の活用法

近郊で歴史に触れられる場所のひとつとなる北海道開拓の村では色褪せた人形が音声案内するものの、身動きもせず佇んでいることが却って不気味さを増大させています。

この地域は江別で最も早く発展したため、札幌軟石によって建てられたモダンな建造物が数多くあり風情ある景観を構築しています。商店街の再開発につながる起爆剤という役割を担って欲しいと思います。

5. で記載している堤防の活用法も鑑みて将来的には管理人の常駐が好ましいが立ち上げ当初はスポットで対応し人件費を抑えるのが良いかも知れません。

(1) 歴史資料展示場(旧岡田邸内を利活用)

(2) イベント開催(旧岡田倉庫の利活用)

(3) 周辺店とは競合しない貸テナント(チャレンジショップやアンテナショップ、マルシェなど)

4. 建物の名称

道路網および鉄道網の整備で発展してきた道内では、「道の駅」として物産販売を行っているのが一般ですが、水関連として洞爺に「とうや水の駅」が同様な営業形態で実在しています。

正式名称「外輪船」ただし、堅苦しい名称では人を引き付けにくいいため、セカンドネーム「江別水の駅」や「PORTE えべつ」など覚えやすく他にはないネーミングを提唱いたします。

情緒ある駅周辺から河川敷までのエリアにみんなが共有できる呼称「奥江別」を設置することを提案いたします。

こういった地域の呼び方がまちづくりのものさしとなり、ブランディングしやすくなる例があります。

5. スーパー堤防の活用

治水目的に留まらず、川面の風を肌で感じ夕涼みであったり市民が憩える場として、高齢化社会や未来を担う若者へ貢献することを期待する。

(1) 遊歩道の整備

散策、ペットとの散歩、ジョギング等での健康増進とコミュニケーションの円滑な場の提供

(2) テニスコートの整備

地域に開放されると共に各種大会への活用

(3) サッカー場の整備

地域に開放されると共に各種大会への活用

(4) バーベキュー会場の整備

川岸の施設として、札幌市厚別川緑地バーベキュー広場、十五島公園などが利用されていて同様に家族同伴でのレジャー施設の提供が望ましい

(5) 縁日の開催

日本の風物である浴衣で気楽に出かけられ、風を感じられる場の提供

(6) 花火大会の開催

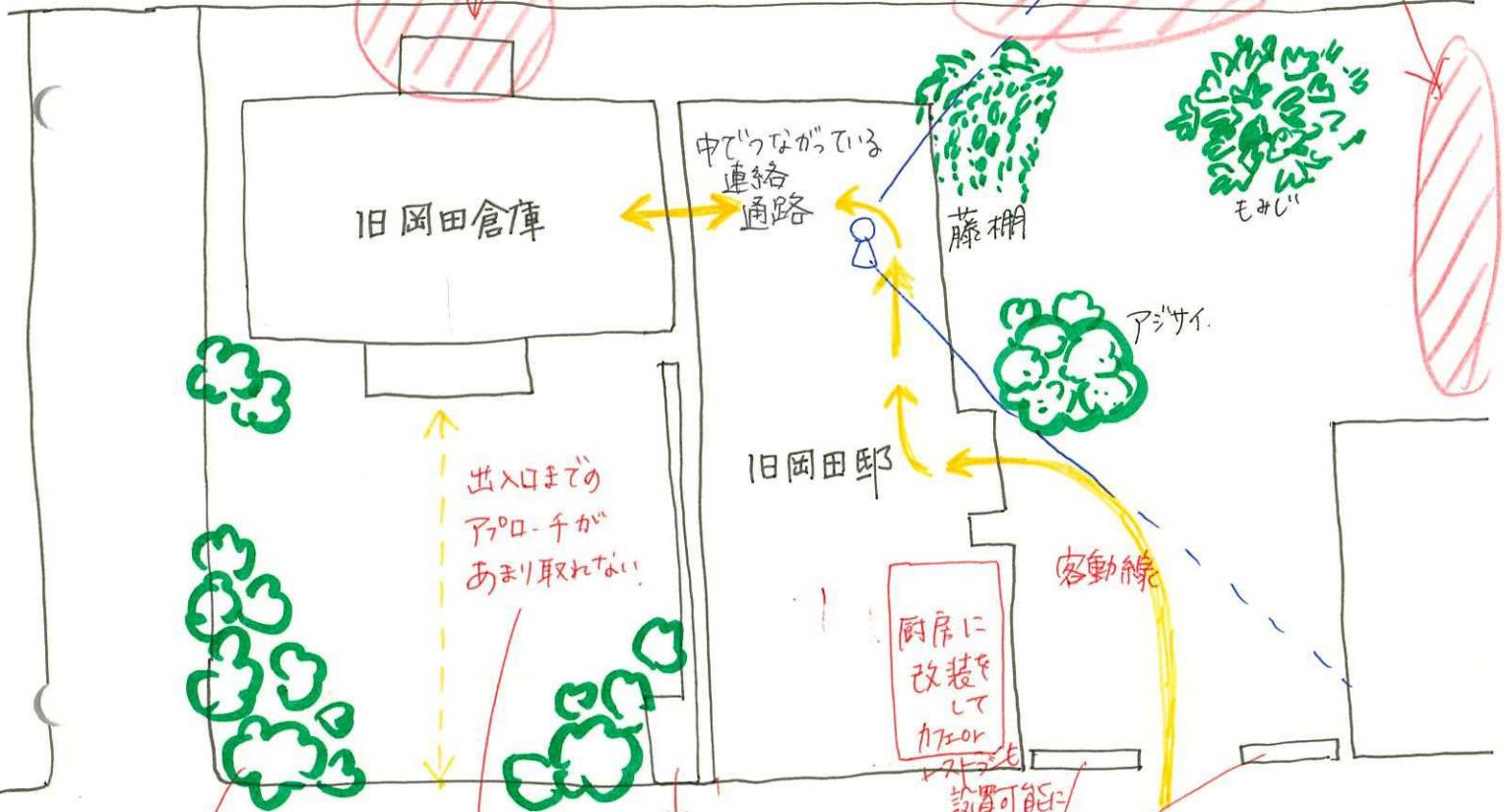
広大な敷地面積が確保できるため新たな試みとしての思料する

(7) 船着き場の設置

ボートなどの係留が出来ると、石狩川を通じて訪れるボート愛好家のメッカとなる。今年の春まで活動されていた江別ヨット倶楽部の復活、継続も考慮したいです。ヨットにおいては、石狩川は全国的にも珍しく海で乗るヨットを川で乗れるという魅力がありヨット大会の開催へと発展させていくことも市外からの集客につながると思います。

搬入・搬出スペースの確保.

和室から庭を眺めると、
この2方向が何もなくて
落ち着かたいい感じに。



出入口までの
アプロ-チが
あまり取れない!

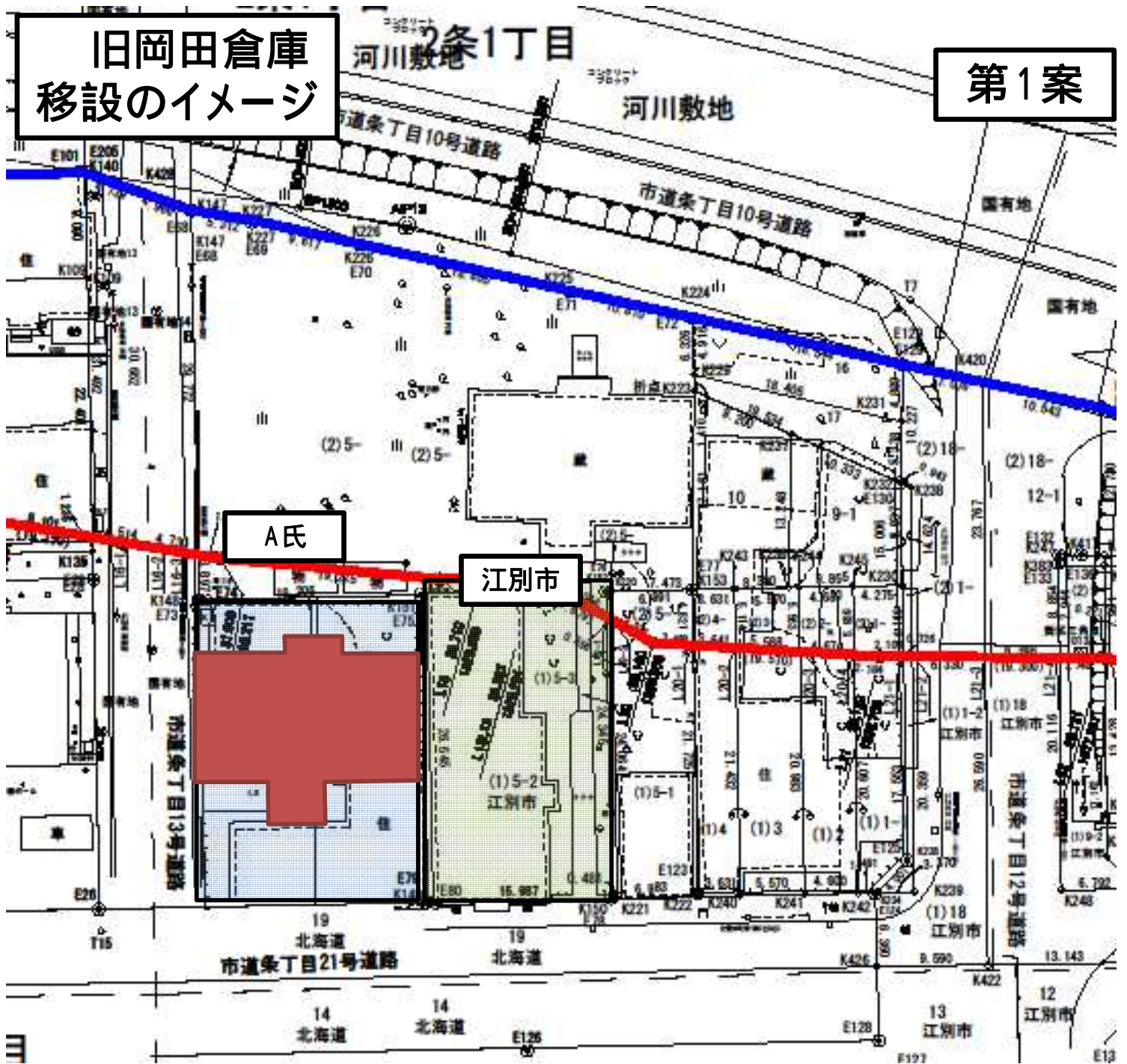
植物で
道路との境に
自隠しを
あつはまうか
良さそう。

出入口をあえて、
旧岡田邸の出入口にして。
こちらの扉は中庭専用という
考え方で良さそうである。

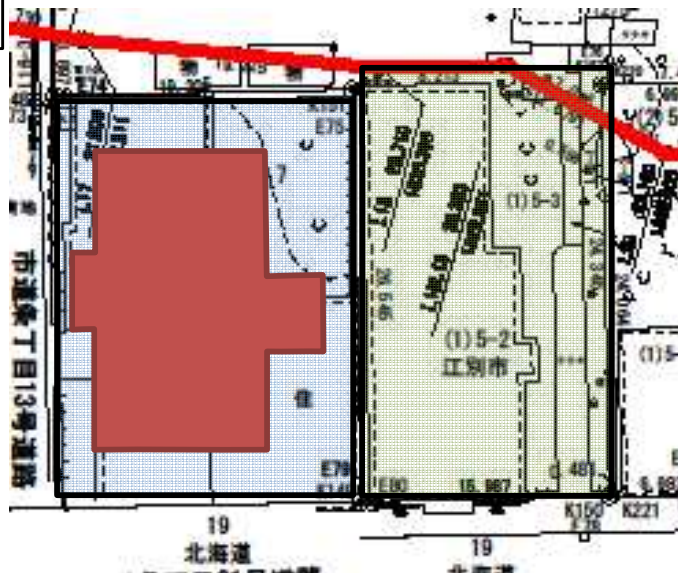
門もできれば活かしたい。

旧岡田倉庫
移設のイメージ

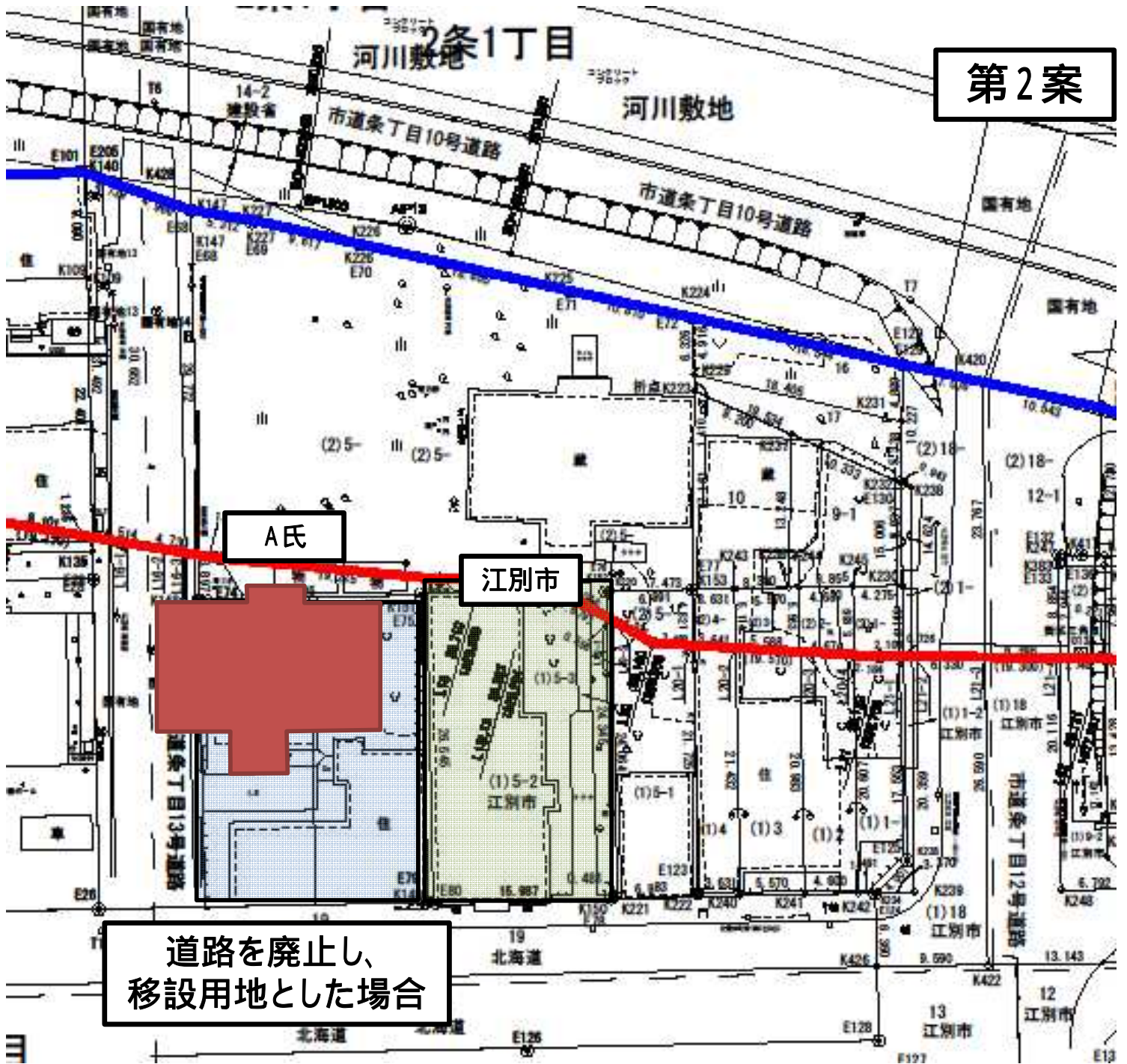
第1案



横向設置



第2案



道路を廃止し、
移設用地とした場合

横向設置

